

令和4年度 浜松市立浜名中学校 学校評価

【校訓】 立志 礼節 敬愛

【学校教育目標】 自ら考え、判断し、実践できる生徒

4段階の「そう思う、大体そう思う」の合計割合 (%)

(2)ー① 生徒の評価

【徳】 1	3・2・1運動（3分前入室・2分前着席・1分前準備）を意識して生活している。	96%
2	交通ルールやマナーを守って登下校し、安全な生活を心がけている。	98%
3	「命の大切さ」や「社会のきまり」について考え真剣に学んでいる。	97%
4	授業や部活動の先生など、担任以外の先生にも話をする機会がある。	84%
5	いじめがなく、楽しく安心して学校生活を送っている。	96%
【知】 6	授業で「知りたい」「やってみたい」「できるようになりたい」と思う。	89%
7	学習をとおして、自分の考えの変化や成長に気付くことができる。	80%
8	学習の中でパソコンやタブレットを活用して調べたり、まとめたりしている。	88%
9	委員会や係活動、当番の役割をしっかりと行っている。	88%
10	行事では、自分の出番と役割があり、一生懸命取り組んでいる。	92%
【体】 11	食事と睡眠をしっかりと取り、健康な生活を送っている。	86%
12	部活動(校外活動)では、自分なりの目標を持って取り組んでいる。※3年生は1学期まで	94%
13	総合的な学習の時間では、課題解決のための探究活動をしている。	87%
14	自分で決めたことは、最後まで取り組む習慣が身についている。	85%
15	先生は、授業や行事など日常生活で親身になって支援をしてくれている。	96%

(2)ー③ 職員の評価

【徳】	学校全体として、生徒たちの規範意識や命の大切さ、いじめをしないという意識が高く、落ち着いた学校生活を送ることができている。特に学校行事や部活動へ意欲的に取り組む生徒が多く、校内に活気がある。
【知】	授業では課題を探究していこうと前向きに取り組む生徒が多い。今後は、自分の考えの変化や成長に気付かせるような教師の投げ掛けを増やしていく。授業でのICT機器の使用率は昨年度よりも高まっており、今後も積極的に推進していく。
【体】	規則正しい生活を送っている生徒が多く、今後も学習や部活動を通して各自の目標を持たせ、それに向かって取り組むよう指導を継続していく。教師への信頼度が高いので、今後も個々に応じた支援を充実させることで、生徒たちの心の安定を促していきたい。

(4) 今後の改善方策

【徳】	生徒を主体とした学校行事や生徒会活動を充実させることで、活気のある学校づくりにさらに取り組む。特に、体育祭や合唱コンクール、部活動への生徒の達成感が高いため、活動の目標を持たせ、指導の場に必ず教師がいることで親身な指導を行う。
【知】	次年度も、キャリア教育とICT機器を効果的に活用した教育の情報化を柱に進めていく。キャリア教育では、本校が策定した「かかわる」「みつめる」「ふかめる」「みとおす」の4つのキーワードをどの授業でも確実に生徒に提示し、定着させる。また、キャリアパスポートの有効活用を図り、教師による見届けや声掛けを徹底し、保護者との共通理解を図る。

(1) 【目指す生徒像・子供の姿】

【徳】	互いのよさを認め合い、思いやりとより良いマナーを身につけた生徒
【知】	主体的に学び、自己肯定感を身につけた生徒
【体】	目標を定め、やり抜く心身ともにたくましい生徒

(2)ー② 保護者の評価

【徳】 1	子供は、交通ルールやマナーなど、社会のきまりを守って生活している。	98%
2	子供は、命の大切さを考え、安全な生活を心がけている。	98%
3	子供は、進んで挨拶をし、丁寧な言葉遣いをしている。	78%
4	子供は、楽しく安心して学校生活を送っている。	82%
【知】 5	子供は、授業で学習したことについて、家で話をする。	59%
6	子供は、進んで家庭学習（課題）に取り組んでいる。	61%
7	子供は、進んで家の手伝いをしている。	49%
8	子供は、学校行事や学級活動など、意欲的に取り組んでいる。	89%
【体】 9	子供は、食事と睡眠をしっかりと取り、健康な生活を送っている。	85%
10	子供は、部活動(校外活動)に意欲的に取り組んでいる。※3年生は1学期まで	90%
11	子供は、最後まで取り組む習慣が身についている。	77%
12	子供は、将来について考え、夢や希望をもっている。	68%
13	学校は、たよりやブログ、メール等で情報を発信している。	91%
14	学校は、三者面談や教育相談が充実し、相談がしやすい。	83%
15	学校は、PTAや地域と連携して活動をしている。	88%

(3) <学校運営協議会による評価>

【徳】	生徒たちは全般的にルールやマナーを守り、安心感をもって学校生活を送っている。あいさつもできるようになってきている。地域行事では、地域の人々に丁寧に 대응することができ、好感が持てる。生徒の評価が高い一方、保護者の評価が低い項目があるが、学校と家庭とで、生徒の振る舞いが異なるため評価に違いが出たと思われる。家庭や保護者のしつけ・生活習慣が必要な分野であり、家庭力を向上させる必要がある。保護者へのアンケート項目を、「保護者は、生徒に〇〇〇できているか。」問う質問形式にした方がよい。
【知】	生徒たちは学習や学校行事に一生懸命取り組んでいる。家庭学習も充実していけるよう、働き掛けていくとよい。
【体】	生徒たちが自分の将来や世の中について、思い描いていけるような機会を設けられるとよい。地域(学校運営協議会)も継続して支援していきたい。

ICT教育では、教職員の研修を充実させ、授業での活用場面を増やす。さらに「個別最適化された学び」に向けてリモート授業の方法を模索し、校内適応指導教室(GR)や家庭でリモート授業の実践を行っていく。
総合的な学習の時間では、学校運営協議会との連携を通して地域の方々の力添えをいただきながら、夢や希望が持てる生徒の育成につなげる。(特に2年生の職業体験学習)
【体】 将来への目的意識がやや希薄な生徒がいるので、キャリア教育の視点をすべての授業で取り入れることで、自分の生き方について考えさせ、目的を明確にさせていく。